

# ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 11 月 2 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



## マイコプラズマ肺炎に注意しましょう！

マイコプラズマ肺炎の患者数が県内で増加しています。

学童期の患者が多く、  
学校で出席停止となる  
児童・生徒の数も増加しています。

### どんな病気？

肺炎マイコプラズマという細菌  
による呼吸器感染症で、  
15 歳未満の方がかかりやすい  
疾患です。

潜伏期は 2～3 週間と長く、  
**発熱、頭痛、咳**などの症状が  
みられます。

**咳**は遅れて始まることもあり、  
熱が下がった後も  
**3～4 週間続く**ことが特徴です。

コンコン



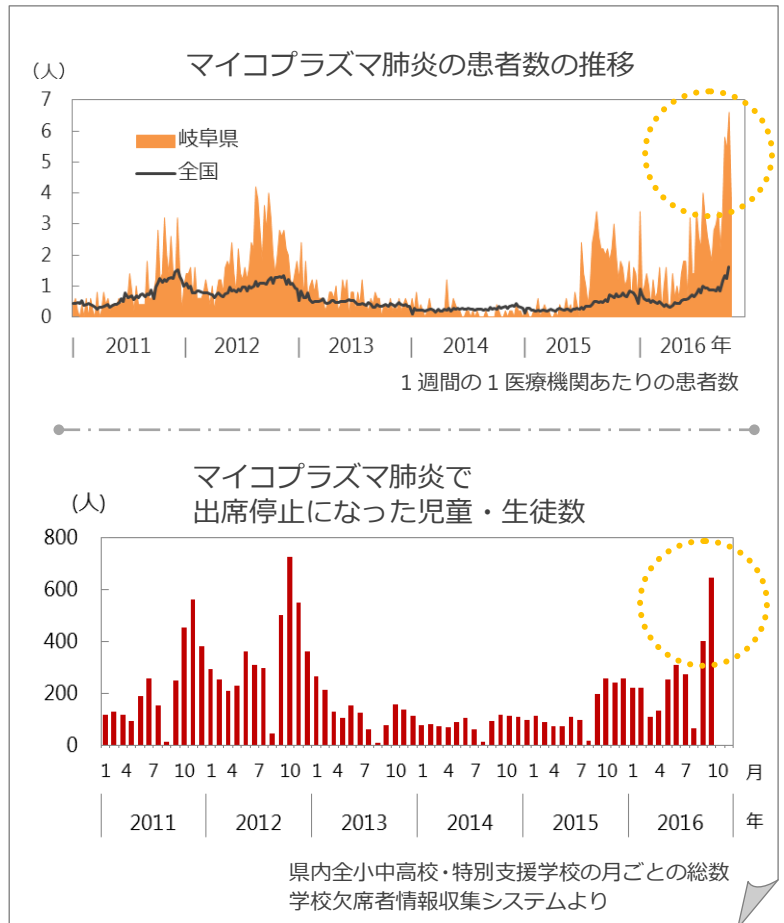
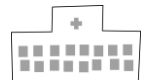
かかっても  
比較的元気なことが多いですが、  
診断が遅れると重症肺炎となることがあるほか、  
まれに、脳炎、髄膜炎などの合併症をおこすこともあります。

### どうやってうつるの？ 予防方法は？

感染している人の咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、  
病原菌の付いた手指などを介した**接触感染**によってうつります。

予防には、**手洗いやうがい**を徹底することが大切です。

また、咳が出るときはマスクを着けるなど、**咳エチケット**を心がけ、  
咳が続く場合は、**早めに医療機関を受診**しましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。  
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

